

助成受給団体名	かほくちくしょうねんほどういんきょうかい 河北地区少年補導員協会
事業の名称	少年の非行防止と健全育成を図るための活動
実施期間	2017年8月1日～2018年2月28日
<p>実施した事業の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地区内の幼稚園、小・中・高校の防犯・非行防止・薬物乱用防止教室で、非行防止・犯罪被害防止・インターネット安全利用を呼びかけた。</li> <li>2 少年に対する立ち直り支援活動の一環として、関係機関と協働で、平成29年6月10日少年に対する卓球錬成会、平成29年9月15日マカロンの調理体験、平成29年12月13日アイスボックスクッキーの調理体験を実施した。</li> <li>3 年間を通じて、大型店舗等で少年の非行防止キャンペーンを行い、地域住民に啓蒙品を手渡した。</li> <li>4 毎月第二・第四金曜日の「少年を非行からまもる日」や祭典時、地区内の街頭補導活動を行った。</li> </ol>	
<p>事業の成果</p> <p>防犯・非行防止・薬物乱用防止教室は、地区内の小・中・高校計13校、幼稚園・保育所計5箇所で開催し、本事業で購入したパンフレットを教材に、児童自らが主体的に学べる内容となるよう、ロールプレイやクイズ等を交えながら開催し、大変好評であった。</p> <p>立ち直り支援活動の一環として、河北警察署・河北地区防犯協会と協働で男子少年に対する卓球錬成会、女子少年に対する調理体験を実施したが、12月13日実施のアイスボックスクッキーの調理体験に少年の実母が急遽参加し、調理体験終了後、実母が活動に対する謝辞を述べた。</p> <p>これらの地域に根ざした地道な活動を関係機関と協働で展開した結果、河北警察署における非行少年等の検挙・補導総数は25件（対前年比+2件、増減率+8%）と微増したものの、河北警察署管内に居住する少年の総数は5人（-5人、増減率-50%）と激減し、大きな成果が見られた。</p>	
<p>今後の課題</p> <p>継続した非行防止活動</p>	

